

【活動レポート】3/12 日本語学習発表会@府中国際交流サロンに参加しました(児童学習支援サークルくりふ)

府中国際交流サロンで開催された、日本語学習発表会に、児童学習支援の子どもの付き添いとして参加しました。

会場の第 204 教室が埋まるほどの聞き手にやや緊張気味の子もいましたが、それぞれとても素晴らしい発表をしてくれました。

A ちゃんは『サロンはとても重要』というテーマで、普段大学生と一緒に勉強することの楽しさや、サロンが自分にとってとても大切な場所であることを発表してくれました。自分たちの活動を発表のテーマにしてくれたことがとても嬉しかったです。

B くんは『中国の食べ物』というテーマで、小籠包のことを発表しました。予想以上のお客さんの数にやや緊張気味の様子でしたが、2、3 月に一緒に練習した成果をしっかりと発揮してくれたと思います。

C ちゃんは『私が日本で経験したこと』というテーマで、漢字の難しさなどについて発表しました。とても流暢な日本語で、お客さんを驚かせていました。サロンでの活動にも触れていてくれて嬉しかったです。

D くんは『僕の夢』というテーマで、将来漫画家になりたいという夢を発表しました。発表者の中で最年少で、緊張したと思いますが、自分の夢を力強く語ってくれました。また、お客さんから『可愛い』という声が上がっていました(笑)

E くんは『日本の小学校と中国の小学校の違い』というテーマで、日本の学校で驚いた中国との違いを発表しました。発表中も笑顔で、とても堂々とした発表でした。発表後には皆やりきった！という笑顔で、いつもより少し頼もしく見えました。

大勢の人の前で日本語で発表する、というのは彼らにとってとてもいい経験になったと思います、この経験をこれからの勉強などに活かして欲しいと思いました。

僕が今回 B 君と日本語の発表会の準備をして、1 番考え、悩んだのは『どうやって B 君にやる気になってもらうか』ということでした。B 君に今回の発表会のことを伝えた時、最初は参加しないと聞いていたのですが、仲の良い E 君に誘われ、参加を決めました。最初は『江戸時代』をテーマにしていた E 君に影響されたのか、テーマが『鎌倉時代』でした。僕も資料を準備して行ったのですが、歴史に関する言葉が多く難しかったようで、『わからない！発表会参加しない！』と言い出してしまふほどでした。テーマを変えることを提案しても B 君は『もう嫌だ』の一点張りでしたが、VOLAS 職員が『子供たちは好きなことなら一生懸命話してくれる』とおっしゃっていたことを思い出しました。以前 B 君と中華料理の話題で盛り上がったことがあったので、『B 君が好きなものを発表しない？』と提案したところ、中華料理の小籠包をテーマにして発表すると言ってくれました。B 君の好きなものを通して日本語の勉強ができたことはとてもよかったと思います。また、秋学期から勉強の時間 H 君と中国語で長い時間話してしまったり、悪ふざけをしたりすることが多くなってしまい、僕が 2 人に注意することが増え、『B 君は E 君と一緒に勉強してくれない』と自分でも気づかぬうちに B 君と E 君を一括りにして見てしまうようになっていました。しかし、ワークショップの時に勉強の時間が終わっても自分からまだ準備を続けたいと言い出すくらい一生懸命な B 君の姿を見て、また VOLAS 職員から『B 君と E 君を 2 人で一括りに見てしまうのではなく、2 人の個性を見る』というアドバイスをいただき、秋学期の活動の中で忘れがちだった子供たち一人一人に向き合うことを改めて意識することができたのは良かったと思います。

テーマが『中国の小籠包』に決まってからは、原稿作りの時など勉強の時間を過ぎても自分から準備を続けると言ってくれたり、家で練習して上手に読めなかった部分がスラスラ読めるようになってたりと、B 君の努力家という面を改めて見ることができ、僕もとても楽しく準備をさせてもらいました。

今回の日本語発表会の準備は、僕にとって活動を始めてから今までの 1 年間学んだり得たりしたことを様々な場面で活用する、いわば『総復習』のような体験でした。

春学期からも今回の日本語発表会での経験を活かしていきたいです。

言語文化学部中国語 2 年 北浦和翔

日時: 2016 年 03 月 24 日